

# 令和元年度 一般会計決算 15項目の「議会共通指摘要望」を提出



決算審査特別委員会の様子

令和元年度一般会計歳入歳出決算認定については、7人で構成する決算審査特別委員会が9月11日に設置され、23日から25日および29日の4日間にわたり審査されました。

同特別委員会で審査された一般会計決算認定議案は、定例会最終日(10月6日)の本会議において賛成多数をもって認定されました。

本会議における一般会計決算認定議案に対する、各会派等の意見は次のとおりです。

反対の理由は、①収入は過去最大規模、不用額は19億5千万円も残したにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた市内医療機関への支援は拒み、市民の命に関わる感染症対策が不十分です。保健所由来の行政検査2月分、3月分の補助もなければ、消毒液やマスクも給付ではなく貸与のままです。

②心身障害者福祉費では、福祉タクシー券利用の全対象者への拡充はされず、障害者の医療を受ける権利が十分に保障されていません。③子どもの人権

が尊重されていない面が多々あり、学習支援事業は中学3年生に限定、なおかつ子ども時代に経験するべき機会が奪われるヤングケアラーの実態があります。いじめ重大事態については、被害者・保護者と面会もしていません。④法人市民税については、消費税増税やコロナで地域経済が打撃を受けても中小零細企業への超過課税はやめず、異常な課税強化を続けています。⑤一般廃棄物処理基本計画の初年度、計画案も周知せず指定ごみ袋導入を計画したからです。

決議していることには変わりはない。しかし、子どもの急増は旺盛な保育需要を生み、小中学校における深刻な教室不足が生じました。対応にご尽力いただいた執行部をはじめとする関係者の皆さまに感謝いたします。

決議していることには変わりはない。しかし、子どもの急増は旺盛な保育需要を生み、小中学校における深刻な教室不足が生じました。対応にご尽力いただいた執行部をはじめとする関係者の皆さまに感謝いたします。

決議していることには変わりはない。しかし、子どもの急増は旺盛な保育需要を生み、小中学校における深刻な教室不足が生じました。対応にご尽力いただいた執行部をはじめとする関係者の皆さまに感謝いたします。

決議していることには変わりはない。しかし、子どもの急増は旺盛な保育需要を生み、小中学校における深刻な教室不足が生じました。対応にご尽力いただいた執行部をはじめとする関係者の皆さまに感謝いたします。

決議していることには変わりはない。しかし、子どもの急増は旺盛な保育需要を生み、小中学校における深刻な教室不足が生じました。対応にご尽力いただいた執行部をはじめとする関係者の皆さまに感謝いたします。

## 反対

## 日本共産党

## 各会派等の意見表明

決算審査特別委員会の委員長報告・議決結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

こちらからご覧いただけます



流山市議会 令和2年第3回定例会 決算審査特別委員会【令和元年度決算】

検索



【決算審査特別委員会】			
委員長	菅野 浩考	委員	植田 和子
副委員長	坂巻 儀一	委員	笠原 久恵
委員	岡 明彦	委員	中川 弘
委員	西尾 段		

## 賛成

## 流政会

地域福祉を支える事業の成果として、若い育児世帯が開設する高齢者ふれあいの家や、福祉会館における委託事業者の自主事業により多世代交流が推進されていること、また、公民館事業のゆうゆう大学卒業後に有志により設立された団体が、地域での活動を内閣府から表彰されたことなど、地域福祉の着実な推進を評価します。

また、非常備消防については、条例改正による定員減の影響はないと確認しましたが、防災力の要である消防団と自治会とのさらなる連携を推進することを要望します。

## 賛成

## 自由民主党

決算額は過去最大の約651億円です。幼児教育無償化など、国の政策による増加要因があるとはいえ、TX沿線開発の進展、子育て世代の誘致などにより、市税収入を大幅に増加したことによるものと評価します。

以下4点、要望します。①新型コロナウイルス感染症拡大防止と発生している諸課題への対応に最大限の注力をする。②ウイズコロナ時代の行政のあり方について検討する。③やむなく中止された事業予算の安易な削減はしない。④総括質疑で答弁のあった随意契約状況の公開内容の改善、DMOへの取り組みの明確化、ながれやまマップ改善を早急に実施する。

### 議会共通指摘要望 (全15項目)

令和元年度一般会計決算における全会派一致の議会共通指摘要望は以下のとおりです。 ※決算の詳細は、今後発行される『広報ながれやま』をご覧ください。

政策	共通指摘要望	政策	共通指摘要望
安心・安全で快適に暮らせるまち	共助における地区防災の要であり、防災リーダーの役割を担う防災士資格について、令和元年度は自主防災組織防災資機材整備等事業補助金を活用し、取得した市民が皆無であったことから、周知啓発の強化を図られたい。	子どもをみんなで育むまち	児童クラブ児童の帰宅支援事業については、保育の一環ではないこと・試行的要素があったことを踏まえ、その結果を検証・報告されたい。引き続き実施するのであれば相応の受益者負担を求めることとされたい。
良質な住環境のなかで暮らせるまち	地域の公共交通網形成については、高齢化率の高い地域における、新たな交通利便性向上に繋がる施策に地域住民の声が反映されるよう検討されたい。		深刻化する児童虐待およびDV対策として、早期対応と継続的な関与が重要であるとの観点から、対応する職員等の人員拡充を早急に図られたい。
	リサイクル団体育成支援事業については、回収業者が事業を継続できるよう、報奨金を見直しされたい。		いじめ重大事態については、最終報告書のとりまとめができるようさらなる改善を図られたい。
誰もが自分らしく暮らせるまち	クリーンセンターごみ焼却施設内のごみビット破砕機より火災が発生したことから、ごみ収集事業者や市民に対してさらなる分別の徹底を図るとともに、安全管理体制の緊急点検を実施されたい。	中学校武道必修化による柔道の授業においては、生徒を怪我から守る対策を図られたい。	
	地域支え合い活動において、地域の声に常に耳を傾け、個人情報保護するなど、高齢者の安心、安全を守るよう努められたい。	小学校の担任を受け持つ新任の講師には、指導員が配置されていないことから、新任講師にも指導員が配置されるよう、県に要望されたい。	
子どもをみんなで育むまち	多世代間の交流拠点としての、高齢者ふれあいの家実現のために、子ども食堂や、市民が支え合う街づくりなどの事例共有を図られたい。	現在公開されている随意契約状況の記載内容が不十分である。公開の目的に沿った内容となるよう改善されたい。	
	ひとり親家庭等生活向上事業における学習支援については、対象年齢を拡大し、ヤングケアラー対策も横断的に実施し、卒業後も継続的に支援されたい。	契約事務事業においては、入札不調の原因の分析が不十分である。不調の原因を点検し、入札が行われるような改善を実施されたい。	
		シビックプライド醸成に向けて、ウイズコロナでも実現できるオンラインイベントなども拡充されたい。	